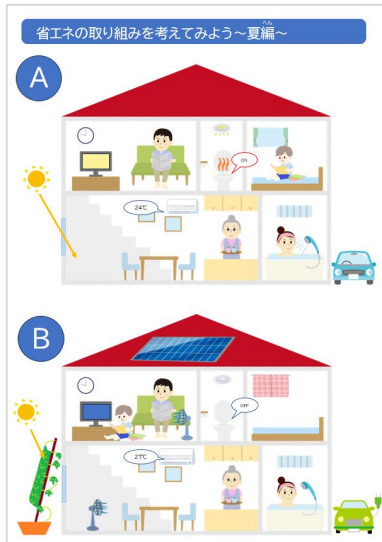


教職員向け「指導の手引き」 ～環境学習ツール～



地球を守るエコな行動記録シート

年 組 ()

取り組み期間	月 日 ～ 月 日
取り組みを 進んだ児童	
めあて	
カード 貼り付け位置	めあて ふりがすり
カード 貼り付け位置	めあて ふりがすり
カード 貼り付け位置	めあて ふりがすり

集めたカードの数を書いてみよう



ごみ調べシート

年 組 名 前

学校や地域の清掃活動で拾ったごみ、家の周りや通学路で気付いたごみについて、どんなものが、どのくらい、どんな場所にあったか、書き出してみましょう。

ごみの種類	数量・量	場所

プラスチックごみ削減のための行動計画

年 組 名 前

学校や通学路、近くにある公園、川や海など、身の周りの環境はどのような状況で、その環境をどうしたいかどのようなようになってほしいか、そのために、どのようなことができるか、取り組みたいことを考えてみましょう。

めあて

理由

具体的にどのようなことができるか、取り組みたいことを考えてみましょう。

家でできること 通学路でできること 学校でできること 公園でできること ... 自分自身でできること、または家族や友達と一緒にできること

実現するために、どのようなことができるかを考えてみましょう。

一人でできること 家族とできること 友達とできること 地域のひととできること ... 一人でできること、または家族や友達と一緒にできること

自分の行動を変える！
→ 授業カードで伝えよう

周りの人に気付いてもらう！
→ ポスターや報告書で伝えよう

この手引きは、「考えよう！わたしたちのくらしと環境・エネルギー」と連携して使用する学習ツール(ワークシートなど)の使い方や環境学習を進める上で参考となる情報を整理したものです。
学習ツールのデータは、大阪府ホームページに掲載しています。ご活用ください。

<https://www.pref.osaka.lg.jp/eneseisaku/education/>

大阪府 環境教育冊子 検索



ねらい

- ・環境教育冊子「考えよう！わたしたちの暮らしと環境・エネルギー～地球温暖化とエネルギー～」で地球温暖化の問題について知り、わたしたちの暮らしにどのような影響があるか理解する。
- ・学習シートを使用して、自分たちの生活で具体的にどのようなことができるか、理解を深める。
- ・行動カードと記録シートを使用して、実際に一定期間取り組むことで、意識や行動を変えるきっかけとする。
- ・宣言シートを使って宣言内容を考え、周りの人に伝えることにより、環境のためにできることを考え、環境のために行動しようとする意識を高め、行動につなげるきっかけとする。

授業の実施例

指導計画(全9時+家庭での実践)

時	学習活動	活用するツール
1～3	<p style="text-align: center;">地球温暖化について考えてみよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ○地球温暖化の仕組みや影響について知る。 ○地球温暖化について調べ、分かったことをまとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・環境教育冊子(p.2～5)
4・5	<p style="text-align: center;">暮らしの中のエネルギーについて考えよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ○暮らしの中でどんなことにエネルギーを使っているのか、エネルギーを減らす様々な取り組みについて知る。 ○家庭や学校でできることを考え、まとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・環境教育冊子(p.6～11) ・学習シート（かしこく快適に～省エネに取り組む工夫～） ・学習シート(省エネの取り組み)
6・7	<p style="text-align: center;">身近な環境について、自分たちに何ができるか考えよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ○カーボンニュートラルについて知る。 ○未来の地球のために、今自分にできることを考え、まとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・補助資料 ・行動一覧(表またはカード形式) ・行動記録シート、行動カード
-	<p style="text-align: center;">自分で決めた取り組みを実践する (2週間～1か月程度)</p>	
8	<p style="text-align: center;">実際にできたこと・できなかったことを振り返る</p> <ul style="list-style-type: none"> ○集めた木の本数を個人、グループやクラス全体で数え、みんなで取り組むことの効果を知る。 ○自分の行動を振り返り、気付いたことや、工夫したことをまとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・行動記録シート
9	<p style="text-align: center;">地球温暖化を防ぐため、自分たちにできることを考えよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ○これまでの学習をふりかえり、これからどのようなことに取り組みたいか、自分の考えを発表する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ロイロノートなどタブレット端末等を使い自由に作成 ・地球を守る行動宣言書

①学習シート「かしこく快適に～省エネに取り組む工夫～」

かしこく快適に～省エネに取り組む工夫～

省エネは、毎日行なうことが大切です。色々な取り組みを組み合わせて、省エネを劇的に心がけ、快適に過ごしてください。

冷蔵庫

冷蔵庫はものを詰めすぎない
※食品を詰めすぎると、冷気の逃げがでやすくなり、省エネ効果が減ります

あわせて取り組んでみよう

開けっ放しの扉を少なくする
開けっ放しは冷気を逃がす原因です

熱い物は冷ましてから保存する
※熱いままに保存すると、冷蔵庫の温度が上がります。冷ましてから保存すると、省エネ効果がアップします

冷凍室を空っぽにする
※冷凍室を空っぽにすると、冷気を逃がす原因です。必要な分だけ冷凍してください

お風呂

シャワーを流しっぱなしにしない
※シャワーを流しっぱなしにすると、お湯が冷めるとともに、お湯が流れていきます。お湯が冷めるとともに、お湯が流れていきます

あわせて取り組んでみよう

お風呂は湯をためすぎない
※お風呂は湯をためすぎると、お湯が冷めるとともに、お湯が流れていきます。必要な分だけお湯をためてください

お風呂のふたは閉める
※お風呂のふたを閉めると、お湯が冷めるとともに、お湯が流れていきます。お風呂のふたを閉めてお湯を保温してください

お風呂より前のシャワーは、タオルでふくってから使う
※お風呂より前のシャワーは、タオルでふくってから使うと、お湯が冷めるとともに、お湯が流れていきます。タオルでふくってから使うと、お湯が冷めるとともに、お湯が流れていきます

エアコン

暖房時の設定を27℃から28℃にする
※暖房時の設定を27℃から28℃にすると、省エネ効果がアップします

あわせて取り組んでみよう

扇風機やサーキュレーターを使用する
※扇風機やサーキュレーターを使用すると、部屋の空気を循環させ、省エネ効果がアップします

窓にグリーンカーテンや日よけを設置する
※窓にグリーンカーテンや日よけを設置すると、直射日光を遮り、省エネ効果がアップします

夏の野菜、果物、かき氷を食べて、体の冷やしすぎに気を付ける
※夏の野菜、果物、かき氷を食べて、体の冷やしすぎに気を付けると、省エネ効果がアップします

エアコン

暖房時の設定を21℃から20℃にする
※暖房時の設定を21℃から20℃にすると、省エネ効果がアップします

あわせて取り組んでみよう

扇風機やサーキュレーターを使用する
※扇風機やサーキュレーターを使用すると、部屋の空気を循環させ、省エネ効果がアップします

窓のカーテンを使用する
※窓のカーテンを使用すると、直射日光を遮り、省エネ効果がアップします

ヒーターや暖房器具の温度を下げ、お湯をためすぎないようにする
※ヒーターや暖房器具の温度を下げ、お湯をためすぎないようにすると、省エネ効果がアップします

活用のポイント

- 省エネを色々と組み合わせて取り組むことで、効果を高めることができることや、省エネをしながらも快適に過ごせることが理解できるようにする。
- 環境教育冊子p.7やp.8の取組みも参考にしながら、他にも省エネの工夫ができるか考えてもらうようにする。

冷蔵庫

○ 冷蔵庫の中を整理する。

冷蔵室

未開封の缶詰やびん詰の調味料は入れないで！

バナナやサツマイモなどは冷蔵せずに常温保存したほうが良いと言われています。

とりあえず保存した食材や食べ残しはありますか？

キュウリや茄子は冷やし過ぎに注意

野菜室

出典：省エネ性能カタログ2023年度版(資源エネルギー庁)

お風呂

- シャワーを1分使うと約12Lのお湯が流れます。(2Lのペットボトル6本分)
- 家族4人が4分ずつシャワーを使うと、浴槽1杯分とほぼ同じになる。

1分間 → X 6

4人x4分間

エアコン

- 空気の流れ・性質と一緒に省エネについて考える。
- 住宅において、熱の出入りの割合は、窓が一番多い。
夏は、外出時には昼間でもカーテンを閉める。
冬は、厚手のカーテンを使用したり、床まで届く長いカーテンを使う。
- 家族が一つの部屋に集まって、エアコンの稼働を1台にすることも効果的。
- 食べ物や料理の工夫で省エネにつなげることもできる。
夏は、夏野菜を料理したり、時短レシピで調理から発生する熱を減らす。
冬は、鍋料理で体感温度を上げるとともに、部屋の湿度も上げる。

②学習シート「省エネの取り組みを考えてみよう」

<夏編>

省エネの取り組みを考えてみようー夏編ー	
<p>A</p> 	<p>■省エネに取り組んでいる家はAとBどちらでしょうか。 省エネに取り組んでいるのは <input type="checkbox"/> の家</p> <p>■AとBのイラストをくらべて、どんな取り組みをしているか、考えてみよう。</p>
学校でできる取り組みについて話し合ってみよう	
<p>B</p> 	<p>学校でできることを書き出してみよう。</p>

<冬編>

省エネの取り組みを考えてみようー冬編ー	
<p>A</p> 	<p>■省エネに取り組んでいる家はAとBどちらでしょうか。 省エネに取り組んでいるのは <input type="checkbox"/> の家</p> <p>■AとBのイラストをくらべて、どんな取り組みをしているか、考えてみよう。</p>
学校でできる取り組みについて話し合ってみよう	
<p>B</p> 	<p>学校でできることを書き出してみよう。</p>

活用のポイント

- AとBの家を比較して違いを見つけることで、家の中でできることに気付くようにし、リビング、キッチンやお風呂場など、場所によってさまざまな取り組みがあることを理解できるようにする。
(使用する季節に合わせて、夏編と冬編を使う。)
- 家での取り組みを参考にして、学校でできることについても考えてもらう。

<夏編>記入例

- ・テレビを消している
- ・トイレの電気が消えている
- ・温水便座の電源を切っている
- ・電気自動車を利用している
- ・太陽光パネルを設置している
- ・エアコンの設定温度を27℃にしている
- ・エアコンと一緒に扇風機を使っている
- ・グリーンカーテンで日差しを遮っている
- ・家族が同じ部屋で過ごしている
- ・シャワーの水を出しっぱなしにしない

■学校でできること記入例

- ・エアコンの設定温度を27℃にする
- ・教室を使わないときは照明を消す
- ・水を出しっぱなしにしない

<冬編>記入例

- ・テレビを消している
- ・トイレの電気が消えている
- ・温水便座のふたを閉めている
(開けっ放しにしない)
- ・電気自動車を利用している
- ・太陽光パネルを設置している
- ・エアコンの設定温度を20℃にしている
- ・エアコンと一緒にサーキュレーターを使っている
- ・日差しを家の中に取り込んでいる
- ・家族が同じ部屋で過ごしている
- ・シャワーの水を出しっぱなしにしない
- ・ひざかけを使っている

■学校でできること記入例

- ・エアコンの設定温度を20℃にする
- ・教室を使わないときは照明を消す
- ・水を出しっぱなしにしない

③地球を守るエコな行動一覧と行動カード

④地球を守るエコな行動記録シート

活用のポイント

- 具体的な取組みを一覧で見ながら、一人で取り組めるものや協力して取り組むものがあることを理解し、すでに取り組んでいること、これからできそうなことについて考えるようにする。
- 節電だけでなく、プラスチックごみの削減、食品ロスの削減や環境保全など、色々な取組みが地球温暖化防止(CO₂削減)につながることを理解する。
- 各項目の難易度とCO₂削減効果を踏まえて、自分で項目を選び、めあてを設定することで、主体的に行動できるようにする。
- 取組期間を2週間以上に設定することで、意識や行動の変化や定着を促す。
(家で過ごす時間が長い夏休みや冬休み期間を利用すると、家族の協力が得られ、実践する機会も増える。)

手順1

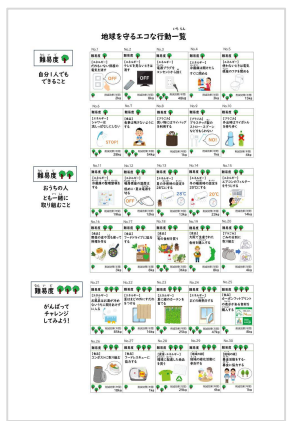
30項目の行動のうち、取り組む3項目について、表形式またはカード形式の一覧の中から探す。

行動一覧

表形式

カード形式

項目番号	項目名	難易度	削減効果	備考
1	省エネに関する取組	1	48kg	省エネに関する取組
2	プラスチックごみの削減	2	12kg	プラスチックごみの削減
3	食品ロスの削減	1	3kg	食品ロスの削減
4	環境保全に関する取組	3	15kg	環境保全に関する取組
5	その他	3	28kg	その他
6	その他	4	54kg	その他
7	その他	1	1kg	その他
8	その他	1	3kg	その他
9	その他	1	3kg	その他
10	その他	1	4kg	その他
11	その他	3	19kg	その他
12	その他	2	12kg	その他
13	その他	2	13kg	その他
14	その他	2	23kg	その他
15	その他	2	18kg	その他
16	その他	1	3kg	その他
17	その他	2	8kg	その他
18	その他	4	36kg	その他
19	その他	2	8kg	その他
20	その他	1	4kg	その他
21	その他	4	65kg	その他
22	その他	3	16kg	その他
23	その他	3	25kg	その他
24	その他	4	47kg	その他
25	その他	2	8kg	その他
26	その他	1	4kg	その他
27	その他	2	18kg	その他
28	その他	3	16kg	その他
29	その他	3	25kg	その他
30	その他	4	47kg	その他



手順2

取り組む3項目を記録シートに貼り付け、めあてなどを記入し、実践する。

地球を守るエコな行動記録シート

年 組 ()

取り組み期間 月 日 ~ 月 日

取り組みを選んだ理由

めあて

カード 貼り付け位置

めあて

ふりかえり

カード 貼り付け位置

めあて

ふりかえり

カード 貼り付け位置

めあて

ふりかえり

カード 貼り付け位置

集めた木の数をぬってみよう

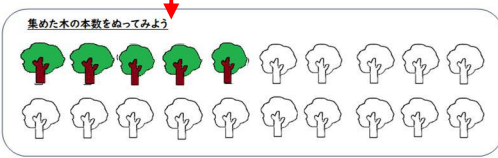
(10 trees icons)

(記入例)
取り組みを選んだ理由
 省エネに関係があり、削減効果が大きいため。
めあて
 家族で協力して家の電気の使用量をへらす。



(記入例)
めあて
 充電が終わったらプラグをすぐ抜く(1日1回)。
ふりかえり
 充電が終わったらプラグを忘れずに抜くことができました。

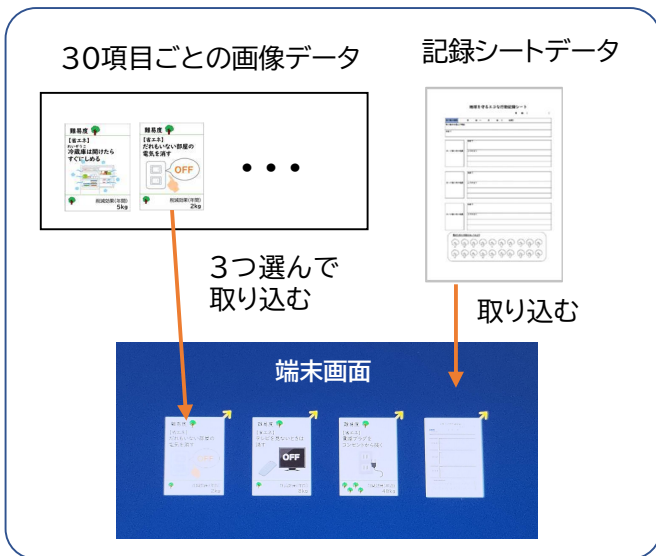
- 紙で印刷した場合 切り取って貼り付ける。
- タブレット端末等で利用する場合 各項目の画像データを貼り付ける。



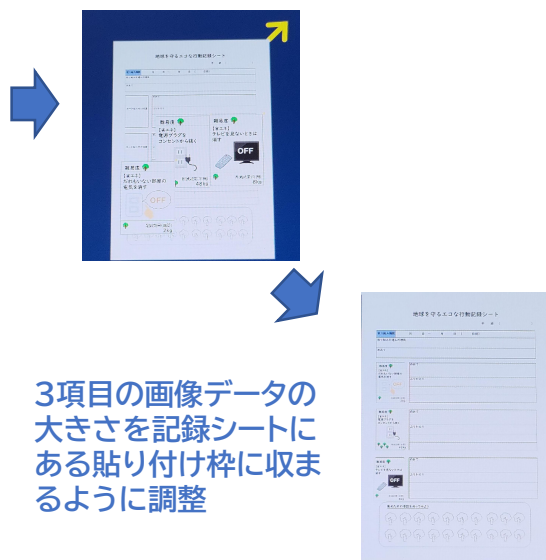
- 実行できた項目について、行動カードの木の木数(難易度と削減効果の合計)に合わせて色を塗る。
- 「電気プラグをコンセントから抜く」の場合、難易度1本と削減効果4本なので5本塗る。

<タブレット端末等を使う場合>
例)ロイロノート

必要なデータの取り込み



3項目を記録シートの上に移動(貼り付け)



<紙に印刷して使う場合>

記録シート・行動カード(B4印刷用)



- 点線で切り取り、記録シートと行動カードを分ける。
- 取り組む項目を3つ選んで切り取り、記録シートに貼り付ける。

⑤地球を守る行動宣言書



活用のポイント

- 周りに向けて宣言をすることにより、自分の取るべき行動をより意識させるようにする。
- 教室や家庭内で掲示することにより、本人だけではなく、周りの人に対しても意識啓発をすることができる。

<参考> 省エネ以外の取組みについて

ごみを減らす

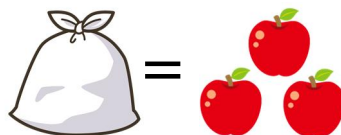
・私たちが日々の暮らしで消費している食べ物や様々な製品は、原材料調達、生産・製造、流通販売されるときにも多くのエネルギーを消費しており、それらの間接的なエネルギー消費に伴い、二酸化炭素も排出されています。また、これらが廃棄される過程(ごみの運搬、焼却、埋立など)でも多くのエネルギーを消費します。

(環境教育冊子p11参照)

・大阪府では1人1日あたり911gのごみを排出しています。

・3R(リデュース・リユース・リサイクル)や、ごみを削減ごみを分別し、リサイクルできるものはリサイクルすることにより、ごみの焼却量を減らすことができます。

1人1日あたりのごみの排出量



911g(りんご約3個分)

食品ロスを減らす

・食品ロスとは、本来食べられるにも関わらず捨てられてしまう食品のことです。日本の食品ロス量は、年間約523万トン(2021年度推計)とされています。これを日本国民1人当たり換算すると、1年で約42kgとなり、毎日お茶碗一杯分(約114g)のご飯を捨てていることとなります。

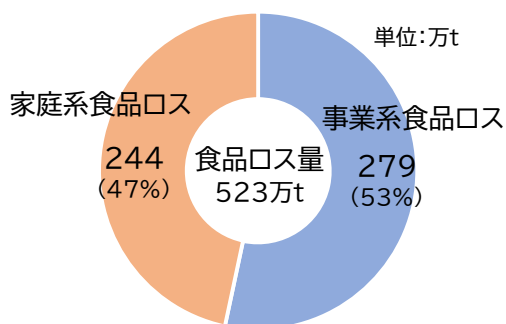
・食品ロスは、食品関連の事業者(製造業、卸売業、小売業、外食産業)から発生する事業系食品ロスと、私たちの食卓から発生する家庭系食品ロスに分けられ、それぞれ同じくらいの量が発生しています。

・食品ロスは食品が私たちの元に届くまでの流過程の各段階で発生しています。これらの食品ロスを減らすには、私たち一人ひとりが、食品ロスをできるだけ出さない方法を考え、行動に移すことが大切です。

・食品ロスを減らすことで、焼却されるごみの量を減らし、二酸化炭素の排出量の削減につながります。

もったいないやん
へらそう食品ロス

食品ロスに関する教材などを掲載したポータルサイトをぜひご活用ください。



家庭から発生する食品ロス

食べ残し



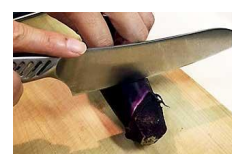
直接廃棄

(例)賞味期限切れ



過剰除去

(例)野菜の皮のむきすぎ



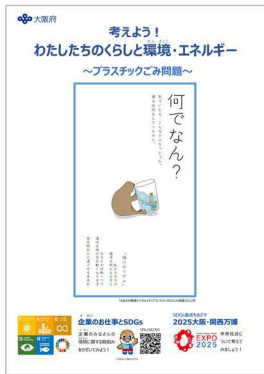
食品の流過程で発生する食品ロスの主な要因

生産	製造	配送	販売等	消費
とれ過ぎや、形が悪い(規格外)などにより、流通できず廃棄される。	需要を上回る製造、パッケージの印字ミスや破損による販売先からの返品などにより廃棄される。	売れ残り、パッケージの破損などにより廃棄されたり、食品製造業者へ返品されたりする。	小売店では、パッケージの破損や売れ残りによる返品・廃棄、飲食店では作りすぎや客の食べ残しにより廃棄される。	買いすぎや使い忘れ、食べ残しなどにより廃棄される。

使用のイメージ

プラスチックごみ問題 環境教育冊子

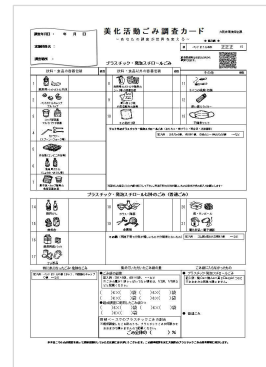
環境教育冊子



(補助資料)



(美化活動ごみ調査カード)



環境学習ツール

身近な環境にどのようなごみがあるか、ごみを減らすためにどのようなことができるか考え、行動できるようにする。

①ごみ調べカード

ごみ調べシート

種類 名前

学校や地域の清掃活動で拾ったごみ、家の周りや通学路で見たごみについて、どんなものが、どのくらい、どんな場所に多かったか、書き出してみましょう。

ごみの種類	個数・量	場所

②プラスチックごみ削減のための行動計画

プラスチックごみ削減のための行動計画

種類 名前

学校や通学路、近くにある公園、川や海など、身の周りの環境はどのような状況で、その環境をどうしたいか、どのようなことにならなければ、そのために、どのようなことができるか、取り組まなければならないことを考えてみましょう。

めあて

理由

真諦的に取り組むことができるか、取り組まなければならないことを考えてみましょう。

一人でできること 家族でできること 学校でできること 友達と一緒にできること ... 思い切ってできること

実践するために、どのようなことができるかを考えてみましょう。

一人でできること 家族でできること 学校でできること 友達と一緒にできること ... 思い切ってできること

自分の行動を変える！ 周りの人に気付かせてもらう！

→調査カードで伝えよう →ポスターや報告書で伝えよう

③地球を守る行動宣言書

地球を守る行動宣言書

わたしたちが大人になっても豊かで快適な暮らしができるよう以下の行動に取り組みます。

年 組 _____

④ポスター報告書 (様式は自由)

正しいごみの分別できていますか？

ごみのリサイクル率は〇%

⑤リサイクルde工作

リサイクル de 工作

ペットボトルキャップでキーホルダー

【用意するもの】
ペットボトルキャップ
アクリル絵の具
布製のリボンや紐、パーツ
(手芸店などで売っています)

【必要な道具】
コップ
アイロン
ピンセット

【作り方】
① ペットボトルキャップをコップで割って研ぎます。
② アクリル絵の具を混ぜ、お好みの色を作ります。①のパーツを塗り、乾かします。②のパーツを縫い付け、完成させます。
※作り置きがおすすめです。

③ アイロンを温度(180～210℃)に設定する。アクリル絵の具をアクリル絵の具で塗る。

ねらい

- 環境教育冊子で学んだことを学習シートを使用することで考えを深めるようにする。
- 行動カードと記録シートを使用して、実際に家で取組んでみることによって、自分自身に関係のある問題だと理解できるようにする。
- 宣言シートを使って宣言をすることにより、意識が高まるとともに行動にもつながり、環境によい生活は何か考えられるようにする。

授業の実施例

指導計画(全11時)

時	学習活動	活用するツール
1・2	<p>プラスチックごみについて考えてみよう</p> <p>○ プラスチックごみでどのような環境問題が起こっているかを知る。 ○ マイクロプラスチックについて調べ、分かったことをまとめる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 環境教育冊子(プラスチックごみ問題 p2) • 補助資料
3	<p>プラスチックごみはどこから来たのか考えよう</p> <p>○ プラスチックごみが海に漂流する理由を考え、まとめる。</p>	環境教育冊子(p3)
4	<p>ごみ調べの計画を立てよう</p> <p>○ 場所、人数、時間、準備物など、実際にごみ調べに行くうえで必要なことをまとめる。</p>	環境教育冊子(p4)
5	<p>ごみ調べに行って、ごみの種類を調べよう</p> <p>○ どのような場所に、どのようなごみがどのくらい落ちているかまとめる。</p>	美化活動ごみ調査カード
6	<p>ごみ調べで集めたごみを分類・整理しよう</p> <p>○ どんなごみが、どのくらい、どんな場所にあったかをまとめる。</p>	ごみ調べシート
7	<p>身近な環境について、自分たちに何ができるか考えよう</p> <p>○ ごみ調べの活動から、何ができるか、何をしたいかなど自分たちの考えをまとめる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> • プラスチックごみ削減のための行動計画 • 環境教育冊子(p5)、補助資料
8	<p>学んだことを伝えよう</p> <p>○ これまでの学習を通して、自分が取り組みたいことや自分の考えを周りの人に伝える。</p>	地球を守る行動宣言書
9～11	<p>学んだことを伝えよう</p> <p>○ これまでの学習をふりかえり、学んだことを広めるポスターを作成する。</p>	

①ゴミ調べカード

ごみ調べシート

年 組 名前

学校や地域の清掃活動で拾ったごみ、家の周りや通学路で気付いたごみについて、どんなものが、どのくらい、どんな場所にあったか、書き添えてみましょう。

ごみの種類	個数・量	場所

活用のポイント

- ごみの種類や場所を書き出すことで、その特徴を理解してどうしたら削減できるか考えられるようにする。
- みんなで協力して地域をきれいにし、活動前後の変化を観察することで、協力して取り組むことの大切さや効果を実感できるようにする。
- ごみ拾いをする際に、グループ対抗(量や種類の多さ)にすると、楽しみながらたくさんのごみを回収することができる。

※「美化活動ごみ調査カード」(環境教育冊子p4に掲載)を活用すると種類別に算定ができます。

②プラスチックごみ削減のための行動計画

プラスチックごみ削減のための行動計画

年 組 名前

学校や通学路、近くにある公園、川や海など、身の周りの環境はどのような状況で、その環境をどうしたいか?どのようになりたいか、そのために、どのようなことができるか、取り組みたいことを考えてみましょう。

めあて

理由

具体的にどのようなことができるかや、取り組みたいことを考えてみましょう。

一人でできること 友達と一緒にできること 学校でできること 公園でできること ... 具体的な目標や行動を自分なりに考えてみよう。

実現するために、どのようなことが必要かを考えましょう。

一人でできること 友達と一緒にできること 友達や地域の人の力を借りること ... 一人でできること、または周りの人が協力してくれること、書き添えてみよう。

自分の行動を定めます!
●賞状カードで伝えよう

周りの人に気付いてもらう!
●ポスターや報告書で伝えよう

活用のポイント

- 自ら計画をたてることで、ごみ削減の問題を「自分ごと」としてとらえられるようにする。
- ゴミを拾うことで周りの環境がどう変わってくるか、考えられるようにする。

<地域での清掃活動の実施が難しい場合>

環境教育冊子や補助資料で身近なごみについて調べ、どのようなことができるか、行動計画を使用して考える。

③地球を守る行動宣言書

地球を守る行動宣言書

わたしたちが大人になっても、
豊かで快適な暮らしができるよう
以下の行動に取り組みます。

年 組

活用のポイント

- 周りに向けて宣言をすることにより、自分の取るべき行動をより意識させるようにする。
- 教室や家庭内で掲示することにより、本人だけでなく、周りの人に対しても意識啓発をすることができる。

④ポスターや報告書

- ごみ拾いやごみ調べを通じて学んだこと、感じたことをポスターや報告書で表現し、周りの人に伝える。

<参考>効果的なポスターの作成～行動の変化をうながす手法「ナッジ」～

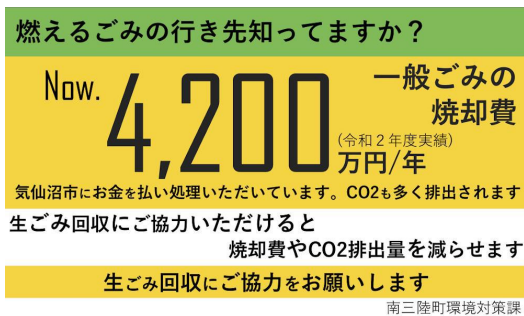
「行動の変化(行動変容)」を促す手法として、行動科学・行動経済学の知見を活用した「ナッジ」があります。ナッジ(nudge)とは、英語で「そっと後押しする」という意味で、人々が、人や社会にとってより望ましい行動を自発的に選択するよう促す手法の総称です。

ナッジ手法を活用することで、行動を促す効果的なポスターを作成することができます。

事例①:南三陸町での実証事例

(実施主体:NECソリューションイノベーター株式会社による調査研究)

- 損失回避:利得より損失に強く反応することに着目したポスター。
- 可燃ごみ処理費を損失として開示することで分別行動を促し資源循環を促進。



南三陸町環境対策課

出典:環境省ホームページ

事例①令和4年度ベストナッジ賞

事例②令和5年度ベストナッジ賞
(高等学校部門)

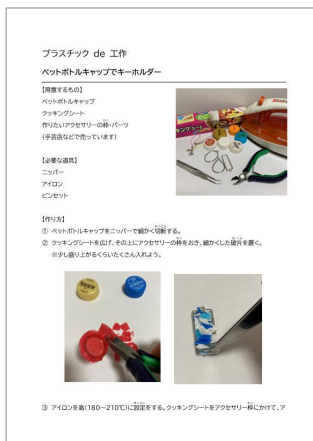
事例②:大阪府立泉北高等学校での実証事例

学校のペットボトル専用回収箱における分別回収(ラベルやキャップを分ける、ペットボトル以外のものを捨てない)について、2種類のナッジを取り入れ、分別に対する意識や行動の変化について効果検証を行った事例。



- ペットボトルの分別を分かりやすく掲示することで、分別に関心を持つようにする。
- 中が分かるゴミ箱にすることで、みんなやっていると気付くことで、分別することが常識だと認識できるようにする。

⑤プラスチックdeリサイクル工作



- ペットボトルキャップでキーホルダー
- プラスチック片でレジンキーホルダー
- 海の漂流物でハーバリウム

活用のポイント

- マイクロプラスチックなどのごみを実際に拾い、工作に使用するという過程を経て、海洋プラスチックごみによる海洋汚染の問題を身近に感じ、関心を持つきっかけとする。

ヒアリング等に協力いただいた
学校での取組みを伺いました！

和泉市立いびき野小学校

テーマ

環境のためにできること ～自分にできる身近な行動から考える～

第5学年(5月～3月)

総 総合的な学習の時間

家 家庭科

《学習のねらい》

・SDGsの17のゴールについて学び、各ゴールと環境問題との関わりを理解し、環境を守るために日常生活の中で何ができるか自ら考え、実践できる子どもを育成する。

総 環境問題を知る

環境問題について各自パソコンで調べ、どのような問題があるかや、和泉市の環境について、聞き取り学習をする。

総 家 自分たちにできることを考える

環境問題を解決するために、自分たちが生活の中でできること、取り組みたいことを調べ、まとめる。エコ・クッキングを通じ、食べ物やエネルギーを大切にする、ごみを減らすなど、食と環境問題との関わりを考える。

冬休みを活用した家庭での実践取り組み

環境学習ツールの「地球を守る行動」や自分で考えた取り組みについて、12月19日～1月31日までの間に、実際に取り組む。

43日間の
チャレンジ！



総 取り組みの総括・発表

どんなことに取り組んだかや、実際に取り組んでみて、感じたこと・気付いたことをまとめ、発表する。

買い物や大掃除で 家族と一緒にチャレンジ！

総合 エコについてやったこと



2. 野菜の皮や芯も使って料理をする

私の家ではニンジンではきれいに洗って、ピーラーで皮も切ってお味噌汁やお鍋に使っています。また、大根は葉のほうも栄養があるとテレビでやっていたので大根に葉がついているときは葉も使うようにしています。



3. エアコンのフィルターの掃除

大晦日にエアコンのフィルターの掃除をしました。結構汚れてて、びっくりしました。また、夏はよく使うけど、冬はあまり使いません。なぜかという、テレビで、エアコンを使うよりこたつを使うほうが節電できるというのをやっていたのでなるべく暖房を使わずにこたつだけで生活しています。なので暖房を使った回数は計5回くらいです！



意識すること、毎日続ける ことの大切さへの気付き。

取り組んだこと

- 1 誰もいない部屋の電気を消す
- 2 シャワーを出しっぱなしにしない
- 3 テレビを見ないときは消す

「シャワーを出しっぱなしにしない」

やってみてわかったこと

- ・普段、シャワーを出しっぱなしにして止めることにあまり意識していないことが多いとわかりました。
- ・シャワーを使わない時にはすぐに止めることを意識していないと忘れることが多いとわかりました。

ふり返り

- ・シャワーを出しっぱなしにすることをなくすにはシャワーを使わないときはすぐに止めるということを意識することが大切だと思いました。



3つのふり返り

- ・私の取り組んだことすべて、忘れてしまいやすいものが多かったで忘れられないように意識することが大切だと思いました。
- ・私は、「誰もいない部屋の電気を消す」と「テレビを見ない時は消す」は、家族の一緒に部屋で過ごしているとき消し忘れることがなくなると思いました。
- ・電気も、シャワーも、テレビも、使わなくなったとき(見なくなったとき)にはすぐに消す(止める)ことが大切だと思いました。
- ・小さなことでも、毎日続けることによって環境が悪くなるのを止めることができるので毎日続けることが大切だと思いました。
- ・毎日続けていると、環境を良くする取り組みが癖になるので、最初に取り組みを忘れないように努力するとずっと続けられると思えました。

先生から

環境問題について学び、「自分には何ができるのか」について考えました。実際にお家でチャレンジするということで、子どもたちは主体的に活動することができていました。家庭科、社会科といった教科と関連して学ぶことで良い影響がでたと感じました。



(参考)ゲストティーチャー

- 和泉市の環境について(和泉市環境保全課)
- エコ・クッキング(大阪ガスネットワーク)

田尻町立小学校

テーマ

自分たちにできることは何だろう？ ～漁業体験から身近な環境を見直す～

第5学年(5～10月)

総 総合的な学習の時間

社 社会科

《学習のねらい》

- ・子どもたちの地域・社会との関わり方や関わり方の質の向上(=社会参画力の向上)を図る。
- ・漁業体験活動や社会科の学習を通して、身近にある問題を知り、課題解決に向けて自ら考え、実践できる子どもを育成する。

社 水産業のさかんな地域(導入)

日本の水産業の現状を知り、田尻町の漁業も同様なのか、という考えをもつ。

総 田尻漁港での漁業体験

漁師さんの働く姿から、漁師さんのやりがいや苦勞していることはどんなことか考える。



社 水産業のさかんな地域(展開)

日本の水産業の現状と課題を知り、田尻漁港も同様の課題を抱えているかについて考える。

総 田尻漁港の漁師さんへの聞き取り学習

漁業体験、社会科の学習を通して、自分たちが考えたことや疑問に感じたことなどを中心に聞き取り学習をする。



総 グループ別テーマ学習

社会科の学習、漁業体験、聞き取り学習を通して、自分たちでテーマを決定し、グループごとに「私たちにできること」を考えていく。



田尻川の水質調査



かきの貝殻を使って水質改善



クリーンハイク

先生から

「現実社会や働く人の姿を見て学ぶ」ことを重視しながら授業づくりを行うことで、子どもたちは自分事として課題解決に取り組むことができたと思います。
また、テーマ別のグループ学習を行うことで、より主体的に取り組むことができ、実際に行動につなげることで、子どもたちは達成感や成就感を得ることができました。
この学習を通して、他の学習にも良い影響が出ていると感じています。

(参考)ゲストティーチャー



○スナメリの生体や大阪湾の環境(元海遊館飼育員:石川恵氏)

○大阪湾及び世界の海の現状を学び、自分たちの行動につなげる(青木ヨット㈱:青木洋氏)

○水質改善につながる行動の評価、取組みについて協議(東洋メンテナンス㈱:片木智生氏)

ヒアリング等に協力いただいた
学校での取組みを伺いました！

堺市立深阪小学校

テーマ

わたしたちの環境を守ろう
～ごみを減らそう！ちょっとでも！～

第5学年(4～3月)

総 総合的な学習の時間

社 社会 国 国語

《学習のねらい》

・環境問題を自分事として捉え、社会や地域の一員として、環境をまもるためにできることを考え、実践したり、地域に発信したりすることができるようになる。

総 環境問題を知る

環境問題について各自パソコンで調べ、どのような問題があるか理解し、1年間で取り組む課題を考える。

ごみ問題について聞き取り学習

様々なゲストティーチャーから、堺市のごみ処理や資源化の状況や「生きごみさん」(コンポスト)、ミミズコンポストについて、聞き取り学習をする。



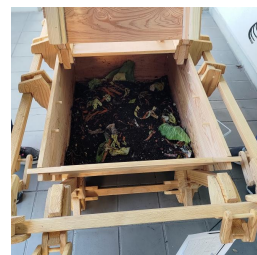
コンポストの設置

生ごみをミミズに食べさせて処理する「ミミズコンポスト」を設置。コンポストの記録をとり、5年生全員で試行錯誤しながら、堆肥づくりに取り組み、使い方や注意点をポスターにして、学校のみなに取り組みを発信する。その他、生きごみさんによる堆肥づくりも実施。

生きごみさん



ミミズコンポスト



総 社 国 地域との関わり・取り組みの総括

聞き取り学習や地域の方々との関わりを通して、自分たちの活動をどう役立てるか、ごみをどうしたら減らせるか考えていく。



校区の清掃活動



学習で作った堆肥を活用した
校区内の公園の花植え活動



5年生がデザインした自動販売機の設置
(購入すると子どもたちの声が流れる)

先生
から

ごみをちょっとでも減らすために、児童が取り組んでみたいと思ったことを取り入れながら授業を進めて行きました。見たり聞いたりするだけでなく、実際に行動に移すことで、より主体的に取り組むことができました。この学習を通して学んだことや経験、つながりを、他の学習へもつなげてほしいと思っています。

(参考)ゲストティーチャー



- 堺市のごみ処理・「生きごみさん」(堺市環境局)
- ミミズのコンポスト(横町編集部:福井県大野市と関西大学の連携協定に基づく団体)
- 食品ロスの問題・自動販売機設置(ガイドーホールディングス株、大阪太平小商事株)
- 食品製造過程から出る廃棄物の有効活用(ハウス食品株)



大阪府

環境農林水産部 脱炭素・エネルギー政策課

〒559-8555

大阪市住之江区南港北1-14-16

大阪府咲洲庁舎(さきしまコスモタワー)22階

電話 06-6210-9288



古紙パルプ配合率70%再生紙を使用

令和6年3月発行